

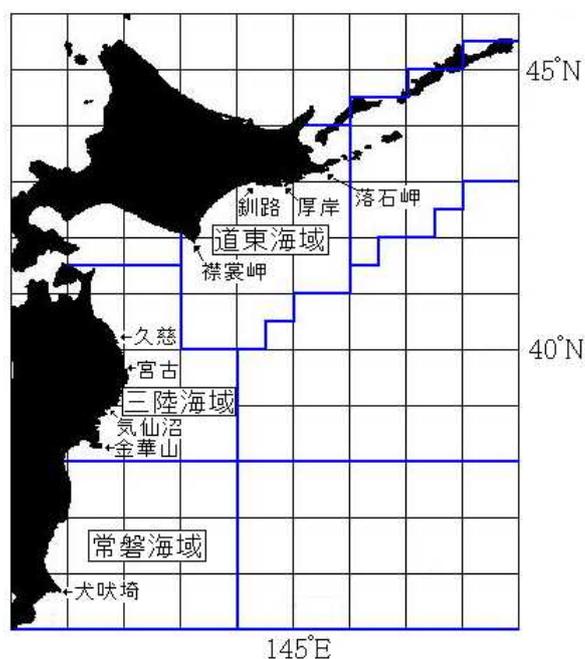
2020年度 第7回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2020年11月中旬～12月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、魚群の来遊は無い。
- ・三陸海域では、11月中旬は低位水準である。
- ・常磐海域では、11月中旬は低位水準である。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部
担当：渡邊、藤井
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/information/category/news/>

2020年度 第7回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2020年11月中旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

道東海域よりも南側を南下する魚群が多く、11月中旬以降は魚群の来遊は無い。

(2) 漁場

漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

11月中旬～下旬は、低位水準である。12月上旬は、低位水準で減少する。12月中旬は、魚群の来遊は断続的となる。12月下旬は、魚群の来遊は無い。

(2) 漁場

11月中旬～12月上旬は、三陸南部に漁場が形成される。12月中旬以降は、漁場は形成されない。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

11月中旬～12月中旬は低位水準である。12月下旬は、断続的な来遊となる。

(2) 漁場

11月中旬～12月中旬は、常磐北部に漁場が形成される。12月下旬は、漁場は形成されない。

2. 予測の概要

海 域		11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量					
	動向					
	漁 場					
三陸海域	来遊量	→	→	→	→	
	動向	低位水準	低位水準	低位水準	断続的	
	漁 場	三陸南部	三陸南部	三陸南部		
常磐海域	来遊量	→	→	→	→	→
	動向	低位水準	低位水準	低位水準	低位水準	断続的
	漁 場	常磐北部	常磐北部	常磐北部	常磐北部	

3. 漁況の経過概要（10月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

道東海域に漁場は形成されず、道東海域における来遊量は極めて少ない。

主漁場は、道東海域より東～南側で、主漁場は落石東南東沖の250～310海里と落石南南東～南沖の190～250海里（久慈東～釜石東沖の190～300海里）であった。このうち、道東海域より東側の落石東南東沖の250～310海里では、期後半に漁獲量が減少した。また道東海域より南側の落石南南東～南沖の190～250海里（久慈東～釜石東沖の190～300海里）では、期後半に漁獲量が増加した。

(2) 漁場

道東海域に漁場は形成されなかった。漁場は、道東海域より東～南側であった。

落石東南東沖の250～310海里の漁場水温13～16℃では、大型船が2～40隻程度と小型船が操業し、最高65トン漁獲した。落石南南東～南沖の190～250海里（久慈東～釜石東沖の190～300海里）の漁場水温13～18℃では、大型船が7～50隻程度と小型船が操業し、最高64トン漁獲した。

(3) 魚体

道東海域より東側の、落石東南東沖の250～310海里では、体長29～30cmモード、体重は100～130g台が主体であった。また道東海域より南側の落石南南東～南沖の190～250海里（久慈東～釜石東沖の190～300海里）では、体長26～27cmと29～30cmモード、体重は70～80g台と100～120g台が主体であった。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

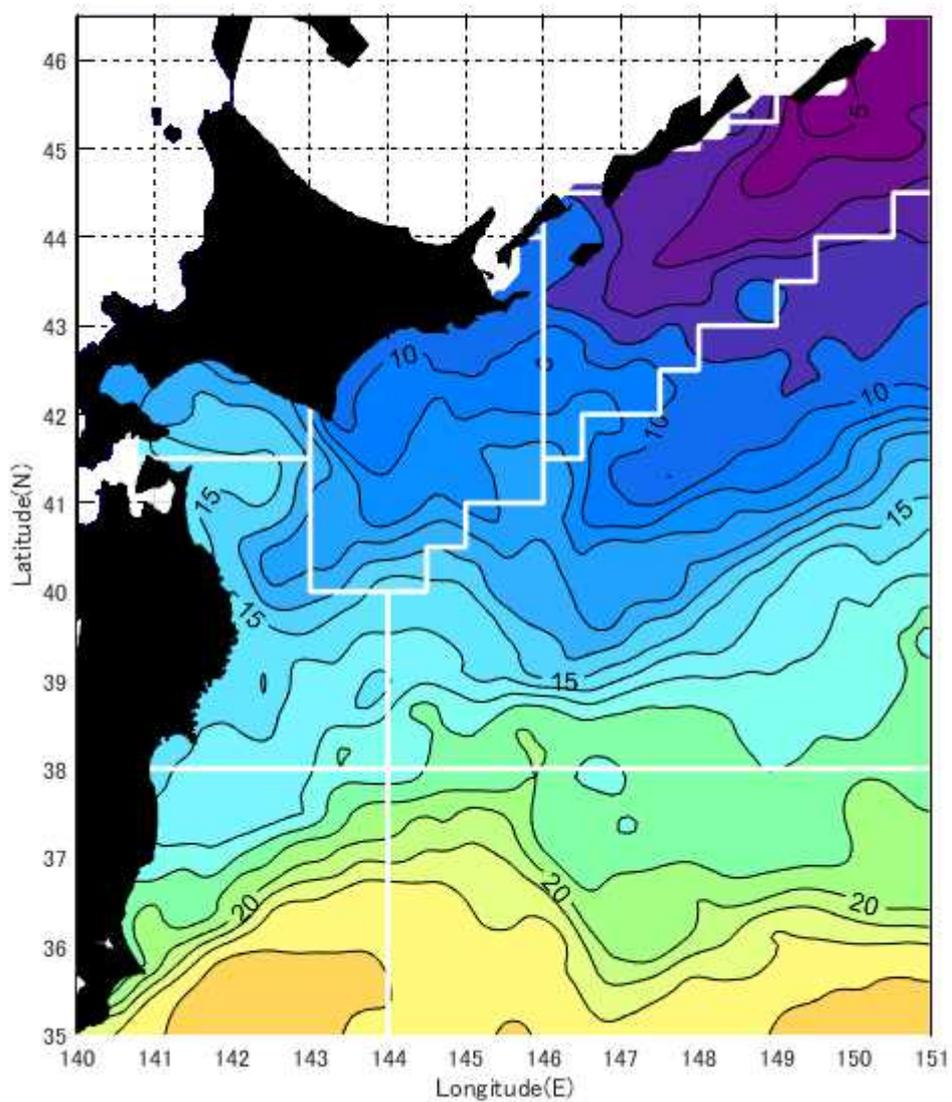
三陸海域に漁場は形成されず、三陸海域における来遊量は極めて少ない。

(2) 漁場

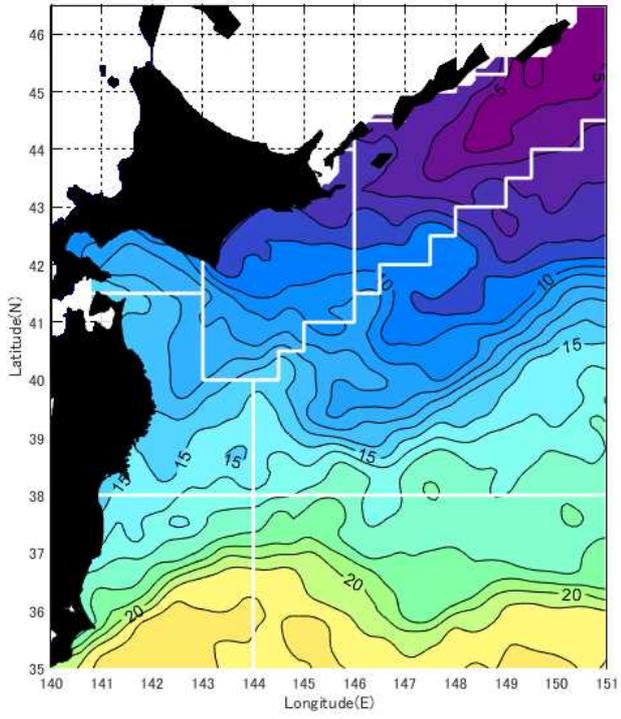
三陸海域に漁場は形成されなかった。

4. 予測水温分布図

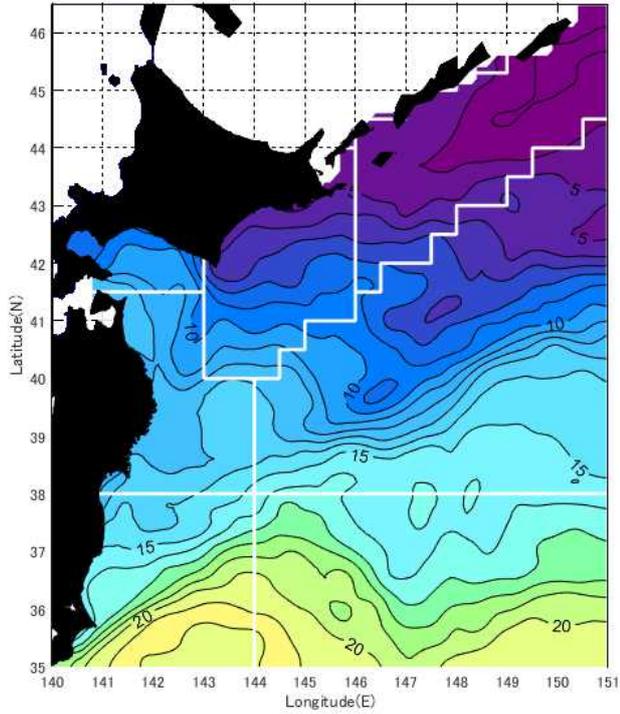
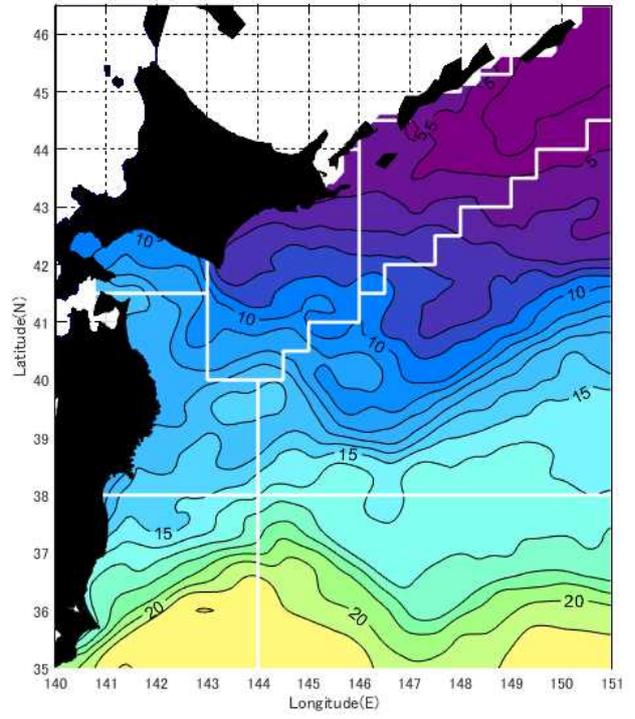
11月中旬予測表面水温分布図



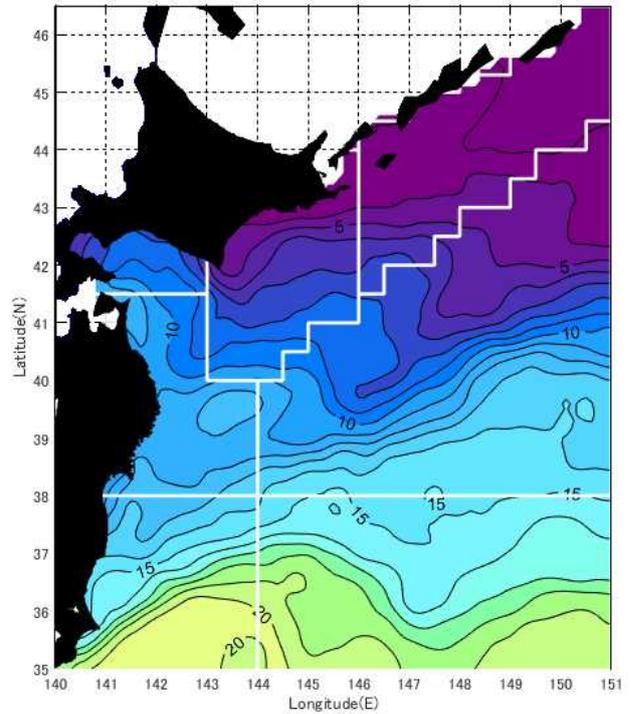
11月下旬予測表面水温分布図



12月上旬予測表面水温分布図



12月中旬予測表面水温分布図



12月下旬予測表面水温分布図

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	--